加古川市コミュニティタクシー

かこタクシー沿線 見どころマップ

加古川市志方町・西神吉町

加古川観光協会のホームページ
加古川ええとこぽけっとなび http://www.kako-navi.jp/

製作・発行 加古川観光協会 〒675-0064加古川市加古川町溝之口701加古川駅前立体駐車場ビル2階
TEL079-424-2170 FAX079-424-2180

志方町四季のイベント

横大路ルピナスまつり

ルピナスの栽培は地元の横大路地区まちづくり協議会が始めたもので、赤・黄・紫等　色鮮やかな花が咲きます。期間中、地元産のお米・新鮮野菜の即売があり、お茶等の飲み物サービスもあります。ルピナスが栽培されているのは志方町横大路地区の休耕田周辺で、ルピナスの花の見頃は5月中旬頃となっています。

志方東コスモスまつり

志方東コスモスまつりは、2006年に開催された「のじぎく兵庫国体」に合せて、志方町高畑地区で休耕田にコスモスを植えたことから始まりました。現在は志方町東部の各地区が協力し、見渡す限りの広大なコスモス畑を楽しむ事ができます。さらに各会場では、農産物の販売、収穫体験などが開催されています。開催場所は休耕田を利用して行われる為、毎年開催場所が少し変わります。関西でも有数のコスモス畑。10月中旬頃が見頃となっています。

ながむろジュンサイ祭り

ため池がはぐくむ夏の味覚「ジュンサイ」を採取して味わう「ながむろジュンサイ祭り」は、志方町永室の「中の池」で毎年７月に開催されます。ボートやいかだで水面を覆うように自生しているジュンサイを収穫します。住民でつくる「ながむろ水辺ミュージアム」や永室町内会などが主催しています。ジュンサイはスイレン科の多年草で、寒天のようなゼリー状の膜をまとった若芽がツルリとした食感で美味です。

志方町特産品

加古川和牛

JA兵庫南や加古川市などが2004年に創設した牛肉の新ブランド。県内で生まれた但馬牛を、市内の農家が自家配合飼料と加古川の伏流水を使用し愛情こめて育てました。肉質や霜降りの程度など、厳しい基準に合格した安全で安心しかも良質なお肉です。ステーキやすき焼きに最適です！

志方牛

おいしい牛肉をPRするため2011年に新たに創設された新ブランド「志方牛」。加古川市志方町にある加古川食肉センターで処理し、加古川食肉地方卸売市場で売買された生後20～60ヶ月の牛です。
衛生的に処理され、安全・安心！うまい！高品質！リーズナブル!志方牛を是非ご賞味あれ！

志方いちじく

志方町西地区で水田転作作物として組織的に栽培しているいちじく。平成18年には兵庫県認証食品として認証されました。朝早くから収穫、完熟いちじくを近隣のスーパーで販売しています。

くつした

1886年、上海から持ち帰った手回しのくつした編立機をきっかけに、くつした製造業が芽生えました。現在では、奈良県、東京都とともに日本三大産地に発展。加古川市の代表的な地場産業になっています。

鹿児の華米

加古川市北部の志方町高畑地区において、土づくりのために有機堆肥を使用し、化学肥料の使用をできるだけ少なくした方法で栽培。地元生産者が丹精をこめて育てたお米です。

野尻のそば

志方町は山に囲まれ昼と夜の温度差が大きく、ソバの栽培に適していることから、1999年から野尻営農研究部会が休耕田を利用しソバの栽培を始め、兵庫県認証食品、ひょうご安心ブランドに認証されています。8月中旬に約100アールの圃場に播種し、10月には、白い花が道行く人の目を楽しませています。収穫されたソバは、ＪＡ兵庫南農産物直売所「ふぁ～みんＳＨＯＰ」で販売されるほか、ソバ打ち体験に使用されています。

加古川市コミュニティタクシー

かこタクシー沿線 見どころマップ

加古川市志方町・西神吉町

長楽寺

秀吉の播磨攻めの時、長楽寺の伽藍は焼失してしまったが、住職が本尊の「木造地蔵菩薩半跏像」を抱いて身を隠し、兵火から守ったといわれている。現在は国の重要文化財に指定されている。

所在地 志方町永室853-1
アクセス かこタクシー「長楽園」下車 徒歩約16分
問い合せ 長楽寺TEL(079)452-2530

高御位山 (たかみくらやま)

「播磨富士」とも呼ばれる高御位山。標高は304m。大正10年には、関西初のグライダーの飛行が行われた。元旦は、初日の出を見る人で賑わう。また、6月初旬には、笹ゆりが見頃を迎える。

所在地 志方町成井
アクセス かこタクシー「(成井)フロッシュ前」下車 徒歩約40分
問い合せ 加古川市役所観光課 TEL(079)424-2190

太閤岩

秀吉が志方城を攻めた時に本陣を置いた場所。

正岸寺

陰陽師(おんみょうじ)として最も有名な阿倍晴明(あべせいめい)のライバルとして知られる蘆屋道満(あしやどうまん)の屋敷があった寺。道満が井戸に閉じ込めた式神が夜になると井戸から飛び出したという伝説が残っている。

志方八幡宮

志方荘30ヶ村を鎮守した厄除安産・交通安全の神様。

所在地 志方町志方町301-2
アクセス かこバス「西飯坂」下車 徒歩約15分
問い合せ 志方八幡宮 TEL(079)452-0052

観音寺

志方城のあった場所。
志方城主・櫛橋氏の娘が官兵衛の妻である。秀吉の播磨攻めの時に落城した。写真は櫛橋家の墓。

所在地 志方町志方町720
アクセス かこバス「志方西口」下車 徒歩約6分
問い合せ 観音寺 TEL(079)452-2370

辻姫の墓

秀吉の播磨攻略により、戦死した高谷左衛門尉秀重の妻「辻」のお墓。「辻」の名が、後に地名になって「辻」と呼ばれるようになったと言われている。

昔は有馬道と呼ばれた京へ行く主要道路だった。

陸上競技場のメーンスタンドは5200人余を収容できる。